

市民の笑顔をおとどけます

3/30

更新のポンプ車などを披露



1. 新しく配備されたポンプ積載車(前)とポンプ車(後)
2. 電動アシスト付きホースカー



市は、南消防署濃南分駐所に配備しているポンプ車を18年ぶりに更新。消防庁から無償で借り、消防団に配備するポンプ積載車と併せて市役所で市長に披露された。

更新されたポンプ車は、600リットルの水槽とコンプレッサーを装備。水と薬剤を混ぜて泡を作ること、同量の水のみ放水よりも長時間放水できる。また、電動アシスト付きホースカーも積んでおり、操作員1人でホースを最大160メートル伸ばすことができる。

4/6・7

土岐医師会准看護学校 東濃看護専門学校 入学式



土岐医師会准看護学校の入学式



東濃看護専門学校の入学式

土岐医師会准看護学校の入学式が6日、東濃看護専門学校入学式が7日にそれぞれの学校で挙行されました。両校とも新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、例年よりも規模を縮小しての開催となりました。

土岐医師会准看護学校入学学生代表の後藤真菜美さんは、「先生や先輩のご指導をいただきながら、校則を守り、准看護師を目指しま

す。勉学に励むとともに、一社会人として、節度と責任を持ち続けます」と力強く宣言。

東濃看護専門学校入学学生代表の大塚和子さんは、「誠実で、温かく、思いやりのある看護を地域に提供できる看護師を目指し、教育課程に沿って勉学に精進することを誓います」と誓いの言葉を述べました。

4/7

晋山窯ヤマツの土本さんが 市長報告



晋山窯ヤマツの茶器「フラスタム」がドイツの国際的なデザイン賞「レッド・ドットデザイン賞」を受賞し、社長の土本正芳さんが市長に喜びを報告しました。

フラスタムは、フランス語で円すいを半分にした下側の「円すい台」の意で、土瓶、湯飲みとも型を使って成形。持ちやすい形状になるように工夫を凝らしました。また、土瓶の取っ手部分のつるは、

真ちゅうとステンレスの素材を使い、おしゃれさを演出。色は白、黒、素焼き、薄い青の四色があり、インテリアとしても楽しんでもらえるような茶器に仕上げました。

土本さんは、「受賞したことで一緒に働くスタッフのモチベーションも高まった。今後も新しいシリーズを展開していきたい」とさらなる意気込みを語りました。



1. 関係者ら約40人が参加した式典
2. 堀尾JA岐阜厚生連経営管理委員会会長(左)と握手を交わす市長(右)

4/1

地域医療確保に向けて 決意新た

市立総合病院、駄知診療所、老人保健施設やすらぎ、訪問看護ステーションときめきの4施設で指定管理制度開始を記念する式典が同院で開かれ、地域医療の確保に向けて、加藤淳司市長とJA岐阜厚生連経営管理委員会の堀尾茂之会長が固い握手を交わしました。

関係者が出席した同式典で、堀尾会長は「東濃厚生病院との連携強化・病床機能分担を図り、東濃中部の医療体制を

継続的に確保していきたい。地域住民から信頼され、必要とされる病院作りを目指します」とあいさつ。加藤市長は、「これからは東濃中部の医療センターとなる。東濃中部の医療を守るといふ視点で東濃厚生病院と連携し、地域医療体制を確保したい。市は各施設の開設者としての責任をしっかりと果たしていきたい」と話しました。